

(一社) 山口県言語聴覚士会

山口県言語聴覚士会 一般社団法人設立

(一社) 山口県言語聴覚士会 会長 矢木田 早苗



理事・会員の集合写真

当会は平成12年8月、会員数27名で発足しました。当時、私の勤務する病院には山口県理学療法士会、山口県作業療法士の会長が同じ職場におり、業務のかたわら県士会活動で活躍されるお二人を「凄いな」と見ていました。月日は流れ私に会長職が任されると、様々なアドバイスと共に「言語聴覚士会はいつ一般社団法人になるの?」と言われるようになりました。最初は会長として会を運営していくことで手一杯でしたが、この数年で会員数が増え、リハ関連団体として行政とのやり取りが当たり前となり、社会に認められる立場で活動する必要があると考え、法人化の準備を

始めました。定款の作成や規約の改定など普段目にしない文章やシステムに戸惑うことも多く、会計士や司法書士といった専門家にも相談し、平成29年4月3日法務局に書類を提出、6月の総会を経て正式に一般社団法人設立となりました。総会後は内山量史協会副会長より「基礎講座拡大版：臨床業務のあり方・進め方」と題して講演いただき、またご祝辞も頂戴し誠にありがとうございました。

8月26日には設立記念祝賀会、翌27日に県学会を開催しました。祝賀会は医療・リハビリテーションなどの関係団体に加え、在京の国会議員、議員の代理の方、県議会、市町行政に関わる方にもお越しいただきました。また、翌日の学会の講師としてお招きした櫻庭ゆかり先生(仙台医療福祉専門学校)、定款作成にお力添えをいただいた千葉県言語聴覚士の会長吉田浩滋先生にも祝賀会にご列席いただきました。余興の一つとして協会作成の「言語聴覚士ってどんな仕事?」を上映しました。言語聴覚士の名前は知っている方も業務内容を知らない方へアピールできたのではないかと思います。乾杯の音頭は現作業療法士会会長、万歳三唱は現理学療法士会会長と、リハビリテーションの結束を示す良い機会になりました。



(上) 祝賀会の様子
(右) 千葉県 吉田浩滋会長と

現在、情報発信の方法としてSNSの利用など新しい取り組みにも挑戦していますが、意外とアナログな理事が多く苦戦を強いられています。会の円滑な運営には欠かせないツールなので法人化同様実現させたいと思います。